

「日学・黒板アート甲子園」で 全国2位・県立郡山高校(美術部)

黒板にチョークで絵を描く全国大会「日学・黒板アート甲子園」が昨年行われ、郡高(美術部)の作品(表紙)が最優秀賞に次ぐ2位を獲得しました。

大会は、黒板メーカーの日学が企画、卒業シーズンと入学シーズンに、さまざまな思いを込めて制作した「黒板アート」を全国の高校から募集。97校・157点の応募があり、郡高(美術部)が見事「優秀賞」。

作品は、美術部生徒17人が「地元、大和郡山市のために何かできないか」と考案。

「黒板アートの練習風景を黒板アートで表現しました。黒板の中の私たちは、地元・大和郡山の『金魚』をテーマに構想を練っているところです。仲間と共に試行錯誤を重ねるプロセスも黒板アートの醍醐味であり、青春の1コマだと思います」と制作エピソードとともに作品を応募。

審査員から「郡山は歴史ある金魚の名産地。その地域色を十分に生かした作品と言えるだろう。カラフルな色彩がインパクト大。また、画面からチームワークの良さがひしひしと感じられ、仲間たちと楽しみながら描いている情景が浮かび上がってくる。非常に高校生らしい良作」と評価されました。



第5回 水木十五堂賞 授賞式 1/29日

授賞式(賞状・記念品・副賞の授与)、島利栄子さんの受賞記念講演と記念座談会の開催を予定しています。

日時 1月29日(日) 13時30分～16時30分(予定)

場所 DMG MORI やまと郡山城ホール 大ホール

申込 郵便番号・住所・名前・電話番号・参加人数(3人まで)を、電話・FAX・メールで下記事務局へ。または市ホームページから。

※定員(900人)に達し次第、受け付けを終了します。

※申込者には後日、参加券を郵送します。

参加無料・要申込
先着900人

第5回受賞者 ^{しまりえこ} 島利栄子さん

記された想いを未来へつなぐ

島利栄子さん(写真)は、従来注目されることが少なかった庶民、特に女性の日記の蒐集(しゅうしゅう)を行い、その時代を生きた人々の想いを表現するとともに庶民の暮らしを実証する貴重な資料として保存、活用し、次代に正しく伝えることに貢献されています。



申込先・問合せ 水木十五堂賞運営協議会事務局(企画政策課内) ☎ 53-1160・FAX 53-1049・✉ mizuki@city.yamatokoriyama.lg.jp